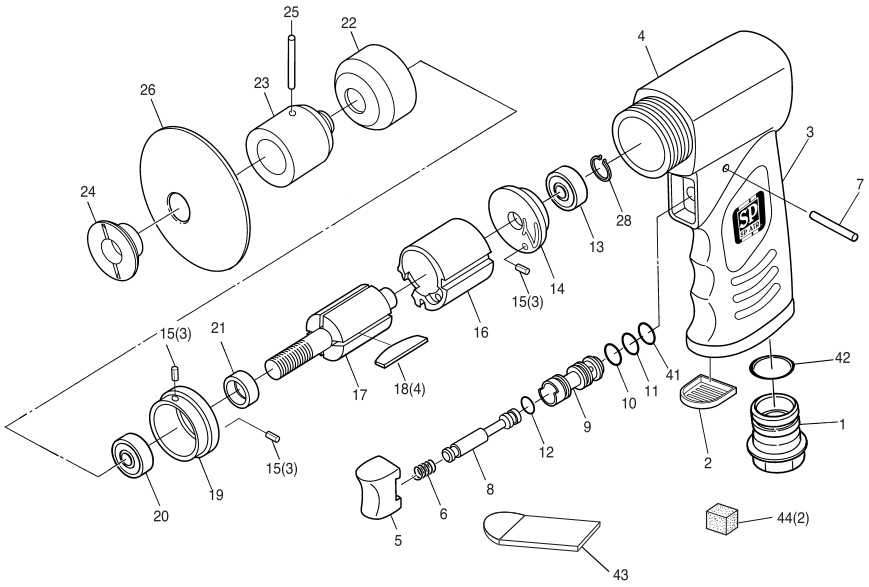
部品分解図

SP-1350
75φmm ハイスピードサンダー



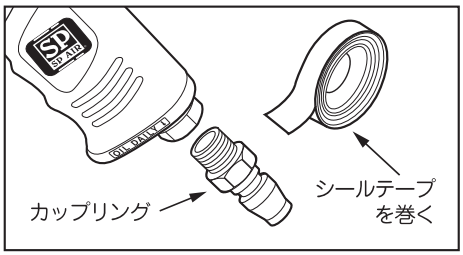
パーツリスト

番 号	パーツNo.	名　　称	個 数
1	1350-01	インレットブッシング	1
2	1350-02	デフレクター	1
3	1350-03	ハンドルカバー	1
4	1350-04	モーターハウジング	1
5	1350-05	トリガー	1
6	1350-06	バルブスプリング	1
7	1350-07	スプリングピン	1
8	1350-08	バルブシャフト	1
9	1350-09	バルブブッシング	1
10	1350-10	オーリング(P-12)	1
11	1350-11	オーリング(P-14)	1
12	1350-12	オーリング(P-4)	1
13	1350-13	ボールベアリング(626)	1
14	1350-14	リアエンドプレート	1
15	1350-15	スプリングピン	3
16	1350-16	シリンダー	1
17	1350-17	ローター	1
18	1350-18	ローターブレード	4
19	1350-19	フロントエンドプレート	1
20	1350-20	ボールベアリング(6000ZZ)	1
21	1350-21	ローターカラー	1
22	1350-22	ロックリング	1
23	1350-23	ディスクホルダー	1
24	1350-24	ディスクナット(国内)	1
25	1350-25	ロッドバー	1
26	1350-26	75φバッキングパッド	1
28	1350-28	リテーニングリング	1
41	1350-41	オーリング(S-15)	1
42	1350-42	オーリング(S-16)	1
43	1350-43	スパナレンチ	1
44	1350-44	マフラー	2

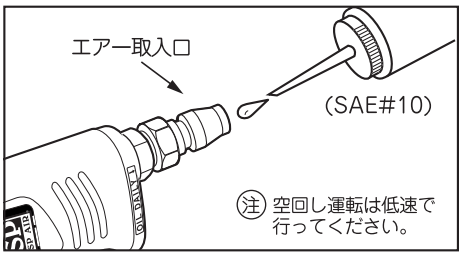
改良のため、仕様を変更する場合があります。

ご使用方法　SP-1350

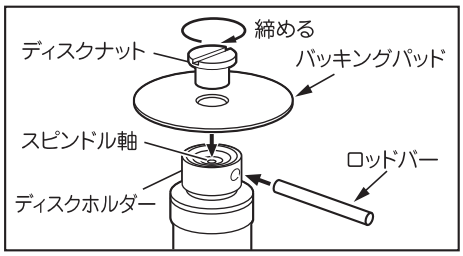
1.カップリングのネジ部にシールテープを巻きつけ、エアーもれのないように、エアー取入口にしっかりと取り付けて下さい。



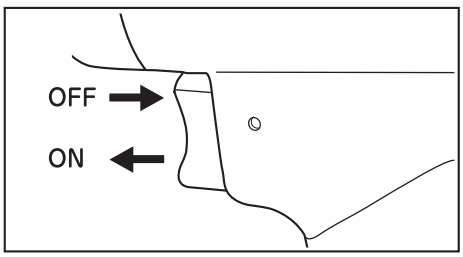
2.作動前にエアー取入口より、スピンドル油かタービンオイルを数滴入れて、軽く空回し運転を行ない、可動部分に油をなじませて下さい。



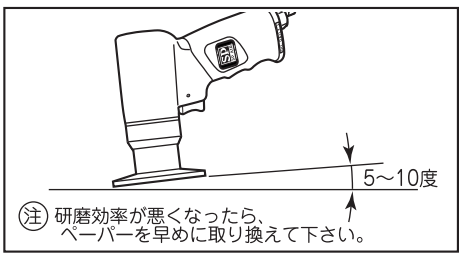
3.給油が終ったら、いったんエアーホースを取り外し、ペーパーを貼りつけたバッキングパッドをディスクナットでしっかり固定して下さい。



4.トリガーは引くと回転し、離すと止まります。引き具合により、スピードの微調整ができます。



5.パッドを少し浮かすようにするとスムーズに作業できます。



SP-1350　⚠ 取扱上のご注意

- ディスクナットはスピンドル軸に、根元までねじ込んでバッキングパッドをしっかりと取付けて下さい。
- 作業中は、回転部に絶対手を触れないで下さい。
- ペーパーの交換はカップリングよりエアーホースを外して行って下さい。
- 多少の振動を伴いますので、なるべく連続作業は避け、休憩しながら行って下さい。
- 絶対に用途以外に使用しないで下さい。
- バッキングパッドが割れて、飛び散ったりする危険がありますから、絶対に、15,000 回転以上で使用しないで下さい。